



かつなりくん

かりや

K

市議会

だより

〈第131号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～

改選後の初議会を開催

議長に前田秀文議員

副議長に山崎高晴議員を選出



市民の皆様と共に歩み身近な存在と感じていただけるよう
『市民に開かれた議会』『市民に信頼される議会』を目指します

平成27年 7月

刈谷市議会議員一同

主な記事

ページ

正副議長決まる

1

委員会の構成

2

8月臨時会のあらまし

8月臨時会は8月10日に招集され、会期1日間で開会し、同日閉会しました。

8月10日の本会議では、正副議長の選挙が行われ、第73代議長に前田秀文議員を、第74代副

就任のごあいさつ



議長 前田 秀文



副議長 山崎 高晴

市民の皆様には、市議会活動並びに市政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

このたび私どもは8月臨時会におきまして、議長並びに副議長に就任しました。歴史と伝統ある刈谷市議会の代表に就任することは、誠に光栄であるとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、刈谷市は本年、市制施行65周年を迎え、多くの記念事業が開催されます。引き続き、市長から提案される政策などを議会において審議し、実行に移していくことはもちろんですが、少子高齢化の進行や南海トラフ地震をはじめとした大規模災害の懸念など、市政に与えられた多くの課題に対し、解決に向けた政策を市長に提言するなど、議会と市当局が両輪となって刈谷市の更なる発展のために取り組んでまいります。

また、昨年は日本における人口減少問題がクローズアップされ、「消滅可能性都市」という

議長に山崎高晴議員を選出しました。

◆議員選出の監査委員として、黒川智明議員の選任に同意した後、各委員会の委員等を選任しました。

言葉が各自自治体に衝撃を与えました。そのような中、国は魅力ある地域の形成を推進することを目的とした「まち・ひと・しごと創生法」を成立させ、本年を地方創生元年と位置づけています。本市においても、刈谷市版のまち・ひと・しごと創生「総合戦略」が今年度に策定されます。この総合戦略が、本市が一層魅力的なまちとなるための指針になるよう、市当局と共に十分な議論を進めてまいりたいと思っております。

そして、議会が、市の意思決定機関として十分に役割を果たし、住民の福祉（幸せ）の増進を着実に具現化できるよう、的確な議会運営を推し進めてまいります。

最後に、今後もより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

議長・副議長の主な経歴

議長 前田 秀文（64歳）

- 平成19年 初当選 現在3期目
- 平成20年 福祉経済委員会副委員長
- 平成21年 建設水道委員会副委員長
- 平成22年 企画総務委員会委員長
- 平成23年 文教委員会副委員長
- 平成24年 福祉経済委員会委員長
- 平成25年 議会運営委員会委員長
- 平成26年 副議長

副議長 山崎 高晴（59歳）

- 平成23年 初当選 現在2期目
- 平成24年 議会広報委員会委員長
- 平成25年 文教委員会副委員長
- 平成26年 議会広報委員会委員長
- 建設水道委員会副委員長

